

入院診療運営部

1. スタッフ（平成27年4月1日現在）

部長（教授）山本 博徳（兼務）

副部長（教授）松村 正巳（兼務）

（准教授）細谷 好則（兼務）

（看護副部長）小谷 妙子（兼務）

幹事（教授）西野 宏（兼務）

（看護師長）亀田美智子（兼務）

（室長）金子 操（兼務）

（課長）藤野 重人（兼務）

部員	病棟医長	33名
	看護師長	7名
	医療技術職技師	6名
	事務	4名

2. 入院診療運営部の特徴

入院診療運営部は、入院診療における課題の抽出及びその解決のための方策についての検討等、入院診療に関して病院執行部の支援に必要な業務を行っている。

3. 実績

①病床利用に関する運用ルールの作成

病床の有効利用による医療提供体制と病院経営の向上及び臨床研修医の教育における充実を目的として、病床利用に関する運用ルールを定めた。

病床を「固有床」と「共用床」に区分し、各病棟への病床数配分の見直しを行った。

②個室利用の促進

病床稼働率の向上や保有する資源を有効的に活用することを目的に、個室利用ワーキンググループを設置し、個室利用の促進の方策やより良い療養環境の整備等についての検討の支援を行った。また、室料差額減免の原因とプロセスの分析を行い、重症者指定床の拡大や室料の見直しについて検討を行った。

③病棟別看護必要度の評価

病棟別の看護必要度の推移を分析し、適切な評価方法の周知徹底を図った。また、平成26年4月の診療報酬改定による看護必要度の評価項目の変更に伴い、対応方法の検討を行った。

④逆紹介率向上のための取組み

医療機関の機能分化・強化と連携の推進を目的に、入院期間中からの円滑な逆紹介のシステム構築について検討を行った。

⑤入退院支援センター（仮称）設置の支援

入退院の手続きや病棟業務の効率化、迅速な患者支援等を目的に地域医療連携・患者支援部に設置された入退院支援センター（仮称）検討部会に対して、運用方法等の計画立案の支援を行った。

4. 事業計画・来年の目標等

適時、入院診療における診療科横断的な課題等の情報を収集し、分析を行い、解決のための方策を立案するなど円滑な運営体制の支援を推進する。